

---

富里市の高齢者・介護保険を取り巻く現状

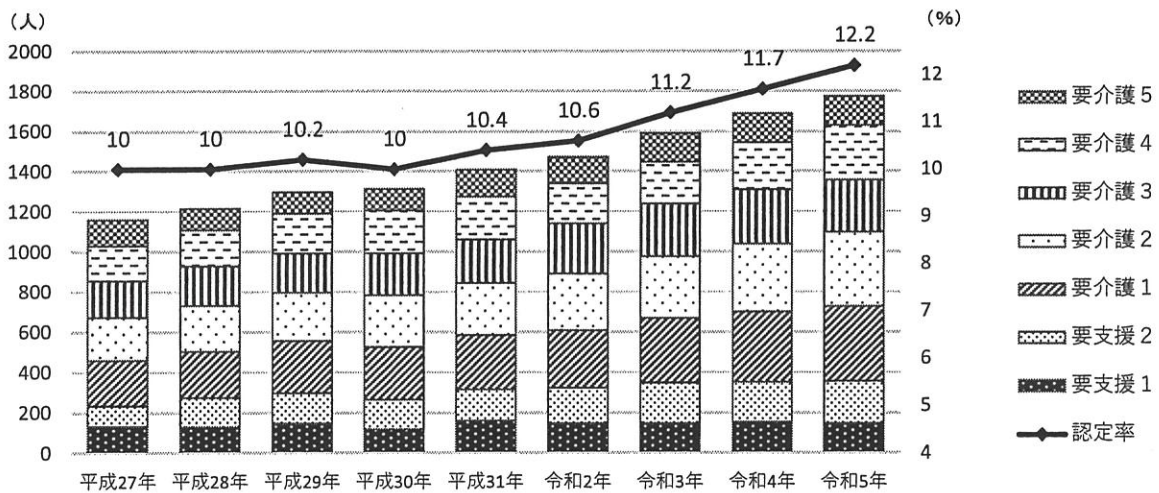
---

# 1 要介護認定者数

富里市の要介護認定者数は増加傾向にあります。同時に認定率（第1号被保険者に対する比率）についても、増加傾向となっています。一方で、認定率を国、県、近隣市、類似市と比較すると低い水準となっています。

認定者数と認定率の推移

	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
認定者数（人）	1,161	1,215	1,296	1,314	1,408	1,472	1,590	1,688	1,775
要支援1（人）	134	130	147	120	160	148	148	153	147
要支援2（人）	98	144	149	143	155	174	199	199	209
要介護1（人）	228	230	262	263	270	287	321	349	372
要介護2（人）	214	227	237	256	259	281	307	336	369
要介護3（人）	183	196	197	211	216	249	264	273	260
要介護4（人）	172	180	197	212	213	201	208	233	272
要介護5（人）	132	108	107	109	135	132	143	145	146
認定率（%）	10.0	10.0	10.2	10.0	10.4	10.6	11.2	11.7	12.2



各年3月末時点 (出典) 厚生労働省「見える化システム」=介護保険事業状況報告

## 国、県、近隣市、類似市の認定率

	全国	千葉県	富里市	成田市	八街市	山武市	富津市	匝瑳市	大網白里市
認定率 (%)	19.0	17.4	12.2	14.8	13.8	15.4	18.3	17.5	15.4

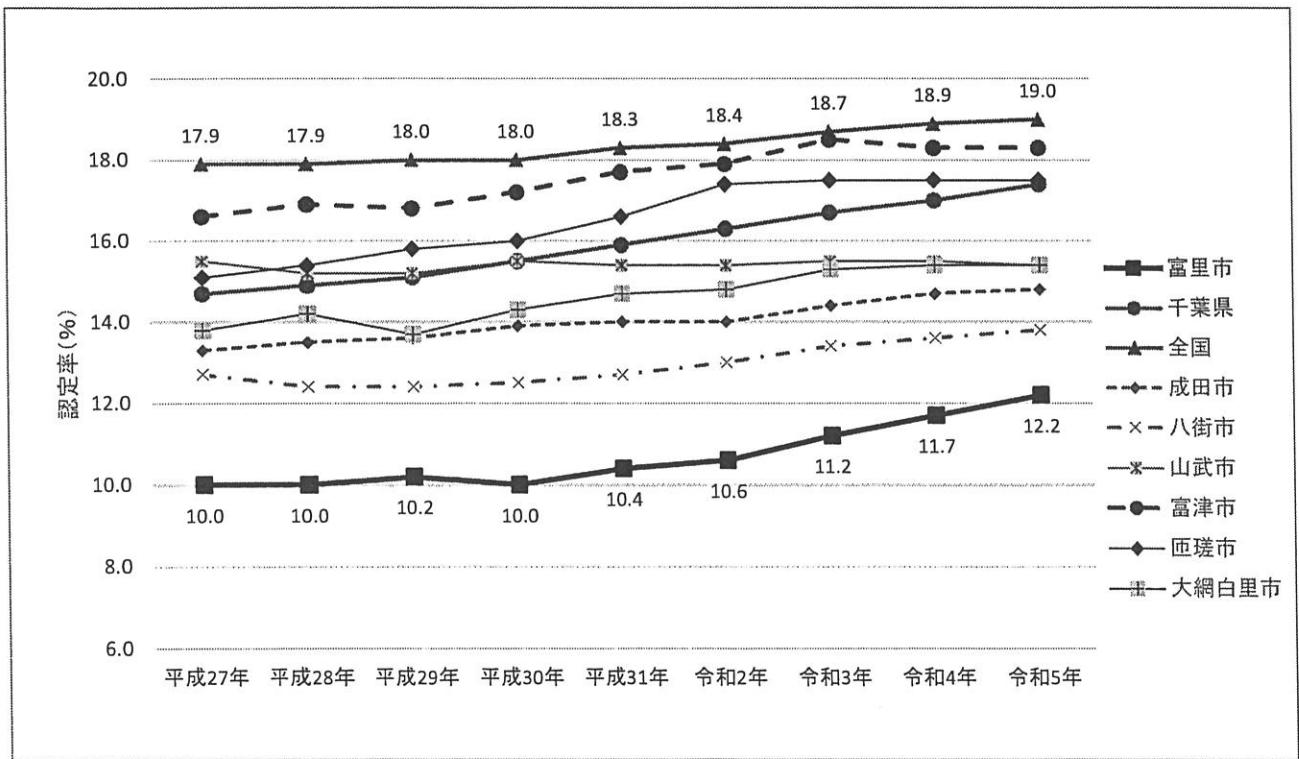
令和5年3月末時点 (出典)「見える化」システム=介護保険事業状況報告

他自治体と時系列で比較すると、富里市の認定率の水準は、全国、県、近隣市、類似市と比較して、いずれの時点でも低い水準となっています。

また、全国、県の認定率の推移は緩やかな増加傾向にある一方、富里市は令和2年までは横ばいで推移してきましたが、令和3年以降は増加傾向となっています。

### 国、県、近隣市、類似市の認定率の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
富里市(%)	10.0	10.0	10.2	10.0	10.4	10.6	11.2	11.7	12.2
千葉県(%)	14.7	14.9	15.1	15.5	15.9	16.3	16.7	17.0	17.4
全国 (%)	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0
成田市(%)	13.3	13.5	13.6	13.9	14.0	14.0	14.4	14.7	14.8
八街市(%)	12.7	12.4	12.4	12.5	12.7	13.0	13.4	13.6	13.8
山武市(%)	15.5	15.2	15.2	15.5	15.4	15.4	15.5	15.5	15.4
富津市(%)	16.6	16.9	16.8	17.2	17.7	17.9	18.5	18.3	18.3
匝瑳市(%)	15.1	15.4	15.8	16.0	16.6	17.4	17.5	17.5	17.5
大網白里市(%)	13.8	14.2	13.7	14.3	14.7	14.8	15.3	15.4	15.4



各年3月末時点 (出典) 厚生労働省「見える化」システム＝介護保険事業状況報告



認定率は、後期高齢者の比率の高い自治体で高くなる傾向があります。このため、自治体のコントロールできない第1号被保険者の性・年齢構成を調整した認定率が、調整済み認定率です。この調整済み認定率を全国、県と比較すると、やはり富里市は低水準にあります。先の調整していない認定率と比較すると、全国、県、他の自治体との差は小さくなっており、近隣市とはほぼ同じ水準になっています。

### 国、県、近隣市の調整済み認定率

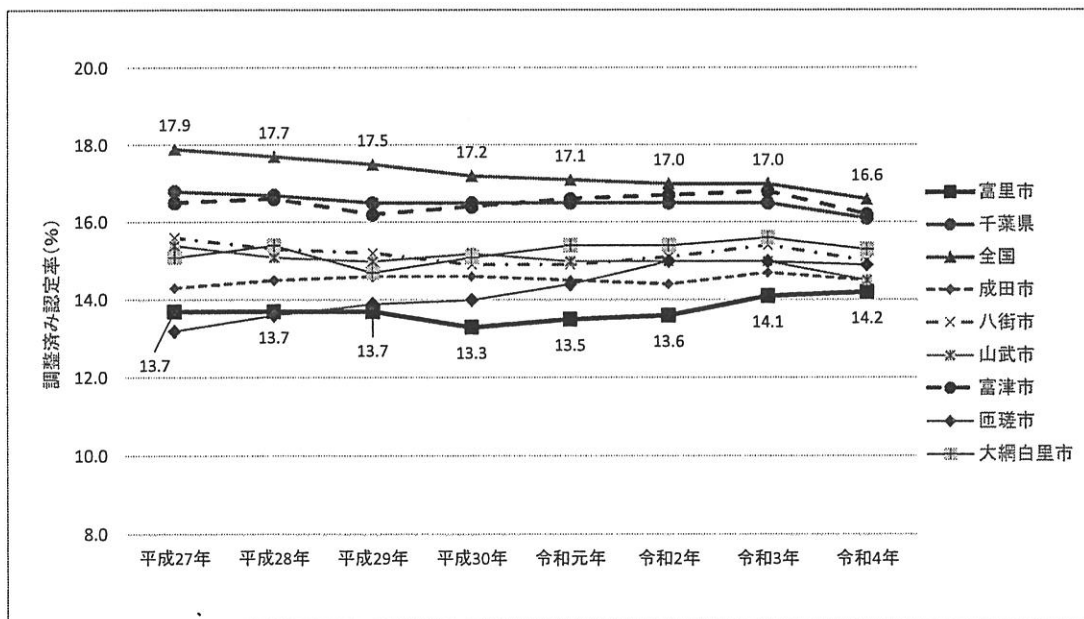
	全国	千葉県	富里市	成田市	八街市	山武市	富津市	匝瑳市	大網白里市
認定率 (%) (令和4年3月末)	18.9	17.0	11.7	14.7	13.6	15.5	18.3	17.5	15.4
調整済み認定率 (%) (令和4年3月末)	16.6	16.1	14.2	14.5	15.0	14.5	16.2	14.9	15.3

(出典) 厚生労働省「見える化」システム=介護保険事業状況報告

調整済み認定率を時系列で見ると、富里市は、ほとどの時点においても低水準となっています。全国の値は減少傾向で、県の値もわずかながら減少傾向にある中、富里市はわずかながら増加傾向にあります。

### 国、県、近隣市、類似市の調整済み認定率の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
富里市 (%)	13.7	13.7	13.7	13.3	13.5	13.6	14.1	14.2
千葉県 (%)	16.8	16.7	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.1
全国 (%)	17.9	17.7	17.5	17.2	17.1	17.0	17.0	16.6
成田市 (%)	14.3	14.5	14.6	14.6	14.5	14.4	14.7	14.5
八街市 (%)	15.6	15.3	15.2	14.9	14.9	15.1	15.4	15.0
山武市 (%)	15.4	15.1	15.0	15.2	15.0	15.0	15.0	14.5
富津市 (%)	16.5	16.6	16.2	16.4	16.6	16.7	16.8	16.2
匝瑳市 (%)	13.2	13.6	13.9	14.0	14.4	15.0	15.0	14.9
大網白里市 (%)	15.1	15.4	14.7	15.1	15.4	15.4	15.6	15.3



各年3月末時点 (出典) 厚生労働省「見える化」システム=介護保険事業状況報告

## 2 介護保険給付実績

### ①サービス別給付費

富里市の介護保険実績と計画値を比較したものが、以下の表です。「訪問リハビリテーション」と「福祉用具貸与」「介護予防支援・居宅介護支援」を除くすべてのサービスについて、実績値は計画値を上回らずに推移しています。

サービスごとの給付実績と計画値の比較

		令和4年度		
		計画値(千円)	実績値(千円)	対計画比*
施設サービス	小計	1,181,955	1,047,451	88.6%
	介護老人福祉施設	464,608	450,518	97.0%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	-
	介護老人保健施設	620,049	569,524	91.9%
	介護医療院	92,346	25,043	27.1%
	介護療養型医療施設	4,952	2,367	47.8%
居住系サービス	小計	185,980	171,908	92.4%
	特定施設入居者生活介護	114,900	104,693	91.1%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	-
	認知症対応型共同生活介護	71,080	67,215	94.6%
在宅サービス	小計	1,281,535	1,153,216	90.0%
	訪問介護	133,800	127,342	95.2%
	訪問入浴介護	22,236	18,687	84.0%
	訪問看護	64,663	52,942	81.9%
	訪問リハビリテーション	2,393	3,544	148.1%
	居宅療養管理指導	27,044	21,410	79.2%
	通所介護	333,438	329,168	98.7%
	地域密着型通所介護	198,750	160,524	80.8%
	通所リハビリテーション	110,719	85,445	77.2%
	短期入所生活介護	75,338	67,211	89.2%
	短期入所療養介護(老健)	9,636	1,126	11.7%
	短期入所療養介護(病院等)	0	0	-
	短期入所療養介護(介護医療院)	0	0	-
	福祉用具貸与	79,992	83,423	104.3%
	特定福祉用具販売	5,070	3,593	70.9%
	住宅改修	16,558	7,300	44.1%
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2,504	1,962	78.3%
	夜間対応型訪問介護	0	0	-
	認知症対応型通所介護	8,477	4,289	50.6%
	小規模多機能型居宅介護	62,408	46,021	73.7%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	-	
介護予防支援・居宅介護支援	128,509	139,231	108.3%	

※計画値を超えたものは太字、計画値から50%以上下回っているものを、太枠で表記しています。

(出典)「見える化」システム＝厚生労働省「介護保険事業状況報告」(年報)



令和2年度と3年度の実績値を比較すると、施設サービス、居住系サービス、在宅サービスの給付計はいずれも増加していますが、内訳を見ると、施設サービスでは「介護医療院」「介護療養型医療施設」が減少し、在宅サービスでは「訪問入浴介護」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「短期入所療養介護（老健）」「特定福祉用具販売」「住宅改修」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が減少しています。

### 令和2年度と3年度実績の比較

		令和2年度 (千円)	令和3年度 (千円)	増減
施設サービス	小計	1,012,492	1,047,451	増
	介護老人福祉施設	428,855	450,518	増
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	
	介護老人保健施設	549,168	569,524	増
	介護医療院	29,627	25,043	減
	介護療養型医療施設	4,842	2,367	減
居住系サービス	小計	151,145	171,908	増
	特定施設入居者生活介護	86,078	104,693	増
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	
	認知症対応型共同生活介護	65,067	67,215	増
在宅サービス	小計	1,045,080	1,153,216	増
	訪問介護	117,275	127,342	増
	訪問入浴介護	20,246	18,687	減
	訪問看護	40,597	52,942	増
	訪問リハビリテーション	2,111	3,544	増
	居宅療養管理指導	17,878	21,410	増
	通所介護	301,010	329,168	増
	地域密着型通所介護	133,047	160,524	増
	通所リハビリテーション	87,304	85,445	減
	短期入所生活介護	72,080	67,211	減
	短期入所療養介護（老健）	4,215	1,126	減
	短期入所療養介護（病院等）	0	0	
	短期入所療養介護（介護医療院）	0	0	
	福祉用具貸与	74,269	83,423	増
	特定福祉用具販売	3,809	3,593	減
	住宅改修	10,630	7,300	減
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2,120	1,962	減
	夜間対応型訪問介護	0	0	
	認知症対応型通所介護	3,782	4,289	増
	小規模多機能型居宅介護	31,909	46,021	増
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	
	介護予防支援・居宅介護支援	122,797	139,231	増

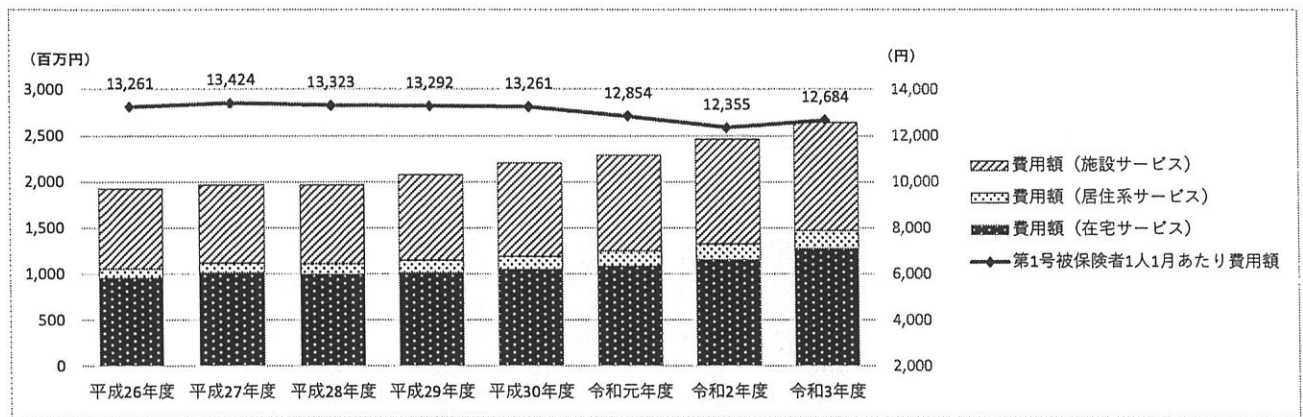
(出典)「見える化」システム=厚生労働省「介護保険事業状況報告」(年報)

## ②第1号被保険者ひとりあたりの費用

富里市の第1号被保険者ひとりあたりの介護保険費用額は、平成30年度までは横ばいでしたが、令和元年から減少し、令和3年度に再度増加しています。全国、県と比較すると、富里市はどの時点でも低い水準で推移しています。また全国、県は増加傾向にあり、富里市も平成29年度からは増加傾向にあります。

費用総額と第1号被保険者ひとりあたり費用額の推移

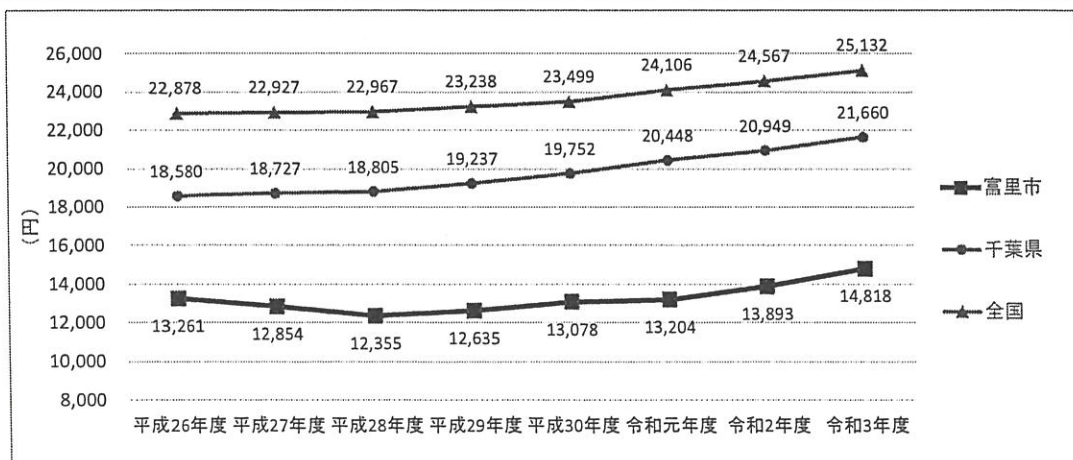
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
費用額(百万円)	1,927	1,966	1,968	2,079	2,206	2,289	2,460	2,647
在宅サービス(百万円)	960	1,015	1,000	1,016	1,052	1,088	1,157	1,279
居住系サービス(百万円)	98	102	114	134	141	161	171	193
施設サービス(百万円)	869	849	854	929	1,013	1,039	1,132	1,175
第1号被保険者ひとりあたり費用額(円)	13,261	13,424	13,323	13,292	13,261	12,854	12,355	12,684



(出典)「見える化」システム=厚生労働省「介護保険事業状況報告」(年報) ※令和3年度は令和4年2月サービス提供分まで

第1号被保険者ひとりあたり費用額の推移;全国、県との比較

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
富里市(円)	13,261	12,854	12,355	12,635	13,078	13,204	13,893	14,818
千葉県(円)	18,580	18,727	18,805	19,237	19,752	20,448	20,949	21,660
全国(円)	22,878	22,927	22,967	23,238	23,499	24,106	24,567	25,132



(出典) 同上

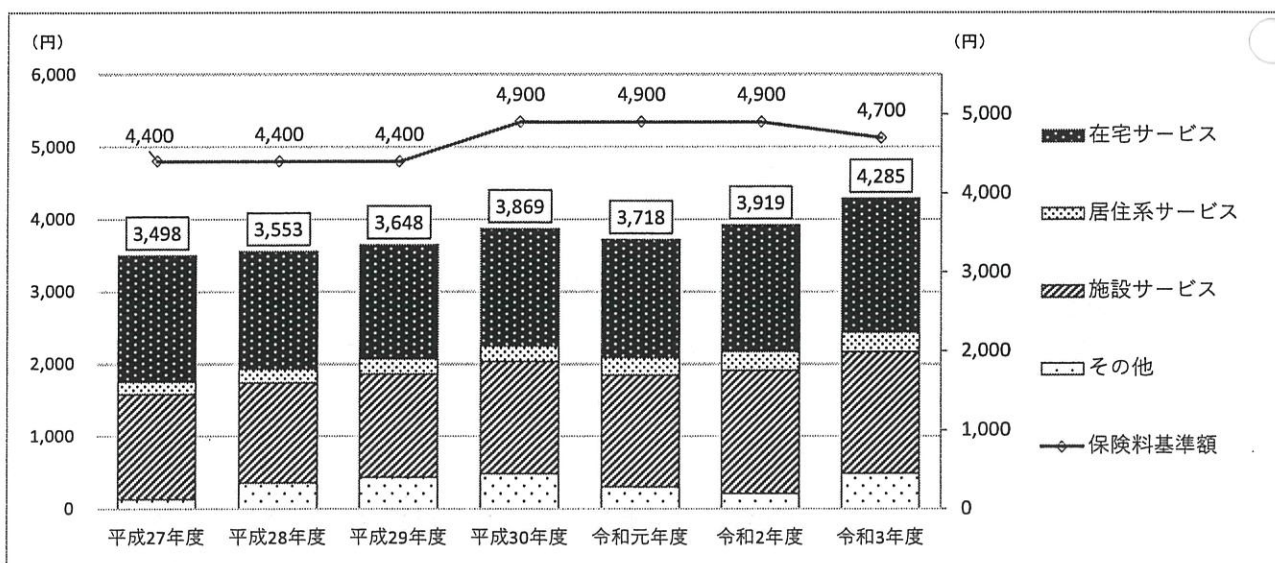


### ③介護保険料

平成27年度以降の必要保険料額は、介護保険料基準額以下となっています。また、介護保険料基準額は、全国、県と比較して低額で推移しています。

必要保険料額と介護保険料の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
必要保険料額の合計（円）	3,498	3,553	3,648	3,869	3,718	3,919	4,285
在宅サービス（円）	1,745	1,629	1,579	1,620	1,635	1,753	1,844
居住系サービス（円）	174	184	206	215	238	254	275
施設サービス（円）	1,448	1,380	1,428	1,548	1,546	1,698	1,675
その他（円）	131	360	435	486	299	214	491
富里市の介護保険料基準額	4,400	4,400	4,400	4,900	4,900	4,900	4,700
千葉県 //	4,861	4,861	4,861	5,265	5,265	5,265	5,385
全国 //	5,405	5,405	5,405	5,784	5,784	5,784	6,014



（出典「見える化」システム＝）【必要保険料額】厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」※令和3年度は令和4年2月サービス提供分まで、【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

第8期計画の保険料基準額の設定は、近隣市、類似市と比較すると、富里市が最も低くなっています。

近隣市、類似市の第8期計画の保険料基準額設定

	富里市	成田市	八街市	山武市	富津市	匝瑳市	大網白里市
保険料(円)	4,700	4,800	5,270	5,400	5,700	5,400	5,700

（出典）介護保険事業計画に係る保険者からの報告値



#### ④給付費構造

第1号被保険者ひとりあたりの給付実績を、サービスごとに全国、県と（それぞれ全国と県を1とし）比較すると、「介護老人保健施設」「地域密着型通所介護」で対全国比、対県比で1を超え、「小規模多機能型居宅介護」は対県比で1を超えています。しかし、その他のサービスはすべて1を下回っており、対全国比で0.5を下回るサービスは12あります。

第1号被保険者ひとりあたり給付実績(サービスごと)、国、県との比較

		富里市 (円)	全国 (円)	千葉県 (円)	対全国比	対県比	
施設	介護老人福祉施設	2,670	4,220	4,068	0.63	0.66	
サービス	地域密着型介護老人福祉施設	0	507	311	0.00	0.00	
	介護老人保健施設	3,500	2,785	2,407	1.26	1.45	
	介護医療院	107	425	184	0.25	0.58	
	介護療養型医療施設	0	69	54	0.00	0.00	
	居住系	特定施設入居者生活介護	664	1,343	1,333	0.49	0.50
サービス	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	45	40	0.00	0.00	
	認知症対応型共同生活介護	354	1,548	1,111	0.23	0.32	
在宅	訪問介護	761	2,245	2,158	0.34	0.35	
サービス	訪問入浴介護	109	118	163	0.92	0.67	
	訪問看護	330	794	624	0.42	0.53	
	訪問リハビリテーション	16	129	121	0.12	0.13	
	居宅療養管理指導	128	338	361	0.38	0.35	
	通所介護	1,814	2,625	2,096	0.69	0.87	
	地域密着型通所介護	1,023	848	886	1.21	1.15	
	通所リハビリテーション	437	942	738	0.46	0.59	
	短期入所生活介護	412	869	894	0.47	0.46	
	短期入所療養介護	4	96	71	0.04	0.06	
	福祉用具貸与	500	853	817	0.59	0.61	
	特定福祉用具販売	21	34	33	0.62	0.64	
	住宅改修	68	83	84	0.82	0.81	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16	162	103	0.10	0.16	
	夜間対応型訪問介護	0	8	2	0.00	0.00	
	認知症対応型通所介護	25	160	80	0.16	0.31	
	小規模多機能型居宅介護	423	598	326	0.71	1.30	
	看護小規模多機能型居宅介護	0	135	117	0.00	0.00	
	介護予防支援・居宅介護支援	825	1,315	1,212	0.63	0.68	
	合計		14,207	23,294	20,394	0.61	0.70

※対全国比、対県比で1以上のものを太枠、ゼロを除いた0.5以下のものに網かけをしています。

(出典) 厚生労働省「見える化」システム＝「介護保険事業状況報告」

第1号被保険者ひとりあたり給付実績について、富里市を基準に（富里市を1とし）近隣市と比較すると、多くのサービスで他市の方が比の値が高くなっています。施設サービスでは「介護老人福祉施設」が高くなっています。また居住系サービス、在宅サービスについても他市の方が高い傾向がみられます。富里市の方が比の値が低い（下記表では0.5以下）サービスは「介護医療院」、「特定施設入居者生活介護」となっています。

第1号被保険者ひとりあたり給付実績、近隣市との比較

		富里市 (円)	成田市 (円)	八街市 (円)	山武市 (円)	対成田市	対八街市	対山武市
施設 サービス	介護老人福祉施設	2,670	4,767	5,424	6,138	1.79	2.03	2.30
	地域密着型介護老人福祉施設	0	122	0	0	—	—	—
	介護老人保健施設	3,500	2,483	1,908	2,999	0.71	0.55	0.86
	介護医療院	107	46	85	46	0.43	0.79	0.43
	介護療養型医療施設	0	0	11	24	—	—	—
居住系 サービス	特定施設入居者生活介護	664	733	552	329	1.10	0.83	0.83
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	7	0	0	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護	354	788	607	967	2.23	1.71	2.73
在宅 サービス	訪問介護	761	1,137	944	1,985	1.49	1.24	2.61
	訪問入浴介護	109	118	147	286	1.08	1.35	2.62
	訪問看護	330	404	253	434	1.22	0.77	1.32
	訪問リハビリテーション	16	23	101	71	1.44	6.31	4.44
	居宅療養管理指導	128	184	138	151	1.44	1.08	1.18
	通所介護	1,814	2,425	1,552	1,848	1.34	0.86	1.02
	地域密着型通所介護	1,023	829	870	652	0.81	0.85	0.64
	通所リハビリテーション	437	382	589	925	0.87	1.35	2.12
	短期入所生活介護	412	538	734	690	1.31	1.78	1.67
	短期入所療養介護	4	27	50	110	6.75	12.50	27.00
	福祉用具貸与	500	690	670	853	1.38	1.34	1.71
	特定福祉用具販売	21	26	34	27	1.24	1.62	1.29
	住宅改修	68	61	74	71	0.90	1.09	1.04
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16	98	194	24	6.13	12.13	1.50
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	—	—	—
	認知症対応型通所介護	25	111	141	121	4.44	5.64	4.84
	小規模多機能型居宅介護	423	892	942	255	2.11	2.23	0.60
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	—	—	—
	介護予防支援・居宅介護支援	825	1,028	908	1,080	1.25	1.10	1.31
	合計		14,207	17,919	16,928	20,086	1.26	1.19

※それぞれの市との対比で2.0以上のものを太枠、ゼロを除いた0.5以下のものに網かけをしています。

(出典) 厚生労働省「見える化」システム＝「介護保険事業状況報告」



第1号被保険者ひとりあたり給付実績について、富里市を基準に(富里市を1とし)類似市と比較すると、多くのサービスで他市の方が比の値が高くなっています。富里市の方が比の値が低い(下記表では0.5以下)サービスは、施設サービスでは「介護老人保健施設」や「介護医療院」が、居住系サービスでは「特定施設入居者生活介護」などが該当します。

第1号被保険者ひとりあたり給付実績、類似市との比較

		富里市 (円)	富津市 (円)	匝瑳市 (円)	大網白里市 (円)	対富津市	対匝瑳市	対大網白里市
施設 サービス	介護老人福祉施設	2,670	5,398	7,093	4,205	2.02	2.66	1.57
	地域密着型介護老人福祉施設	0	983	533	567	—	—	—
	介護老人保健施設	3,500	3,248	3,006	1,632	0.93	0.86	0.47
	介護医療院	107	27	66	64	0.25	0.62	0.60
	介護療養型医療施設	0	217	0	9	—	—	—
居住系 サービス	特定施設入居者生活介護	664	502	227	561	0.76	0.34	0.84
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	5	0	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護	354	866	1,265	980	2.45	3.57	2.77
在宅 サービス	訪問介護	761	1,502	1,851	2,224	1.97	2.43	2.92
	訪問入浴介護	109	173	194	169	1.59	1.78	1.55
	訪問看護	330	350	493	433	1.06	1.49	1.31
	訪問リハビリテーション	16	89	6	50	5.56	0.38	3.13
	居宅療養管理指導	128	104	104	282	0.81	0.81	2.20
	通所介護	1,814	3,050	1,704	2,160	1.68	0.94	1.19
	地域密着型通所介護	1,023	1,216	900	722	1.19	0.88	0.71
	通所リハビリテーション	437	894	655	760	2.05	1.50	1.74
	短期入所生活介護	412	1,867	608	843	4.53	1.48	2.05
	短期入所療養介護	4	0	151	36	0.00	37.75	9.00
	福祉用具貸与	500	840	802	911	1.68	1.60	1.82
	特定福祉用具販売	21	37	31	30	1.76	1.48	1.43
	住宅改修	68	66	58	83	0.97	0.85	1.22
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16	388	30	0	24.25	1.88	0.00
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	—	—	—
	認知症対応型通所介護	25	22	258	0	0.88	10.32	0.00
	小規模多機能型居宅介護	423	353	142	708	0.83	0.34	1.67
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	813	—	—	—
	介護予防支援・居宅介護支援	825	1,323	1,106	1,052	1.60	1.34	1.28
	合計		14,207	23,515	21,288	19,294	1.66	1.50

※それぞれの市との対比で2.0以上のものを太枠、ゼロを除いた0.5以下のものに網かけをしています。

(出典) 厚生労働省「見える化」システム＝「介護保険事業状況報告」

### 3 考察(令和5年度7月現在)

#### ①認定率の低さについて

- ・富里市の認定率が低率である要因の1つとして、後期高齢者人口の割合が少ないことが考えられます。これは、調整済み認定率で他市と比較したときに、認定率の差が縮まっていることからそのように推定できます。
- ・しかしながら、それでも他市と比較して認定率は低いことから、その他の要因として考えられるのは高齢になっても健康を維持している方が多いためと考えられます。このことは、一人当たりの医療費の低さ(別資料「富里市国民健康保険データヘルス計画」より)でも確認できます。
- ・また、健康寿命は全国平均と同程度ですが、平均寿命は全国平均より下回っており(「富里市国民健康保険データヘルス計画」より)、要介護状態にならずに死亡する方が相対的に多いと考えられます。
- ・その他考えられる要因としては、15歳以上人口に占める労働力人口を表す労働力率<sup>※</sup>は、下記の通りとなっており、近隣市および類似市の中でも高くなっています。65歳以上の労働力率も高く、働いていることが生きがいとなり、認定率を低く抑える要因になっていると考えられます。

県、近隣市、類似市との労働力率の比較

	富里市	千葉県	成田市	八街市	山武市	富津市	匝瑳市	大網白里市
労働力率 (総数)	66.4	62.3	66.0	63.7	61.0	60.1	59.8	60.4
労働力率 (65歳以上)	35.9	26.9	29.1	34.9	32.4	30.7	31.3	29.1

※労働力率：15歳以上人口から労働力状態不詳の者を除いた人口に占める、労働力人口の割合。労働力人口には就業者の他失業者も含む。  
(出典：国勢調査(令和2年))

- ・ただし、認定者数や認定率も増加傾向にあり、今後は他市町村と同程度の水準になっていく可能性があります。

#### ②給付実績の低さについて

- ・給付実績が低い要因としては、上記に述べたように、健康で要介護状態にならない高齢者が多いということが基本的にあると考えられますが、介護が必要になっても公的サービスを利用しないケースや、利用したいサービスが展開されていないということも考えられます。

#### ③今後の取組について

- ・現在の認定率の低さは、後期高齢者の少なさが大きな要因であるため、今後はある程度の認定率の上昇は避けられないと考えられます。
- ・また、生活習慣病のうち年々医療費が増加している疾患は、慢性腎不全と高尿酸血症となっており(「富里市国民健康保険データヘルス計画」より)、今後注意が必要です。
- ・低い認定率を維持するための努力としては、介護予防の各種取組を充実させていくことが求められます。
- ・労働力率の高さが認定率の低さにつながっているのであれば、現在の就業者が引退するときいかに地域社会につなげていくか、という視点も必要と考えられます。
- ・地域の間関係の豊かさが、認定率を下げることに効果があるといわれており、適切な通いの場を設けることで、市内のソーシャルキャピタルの在り方を改善・深化させていくことが求められています。